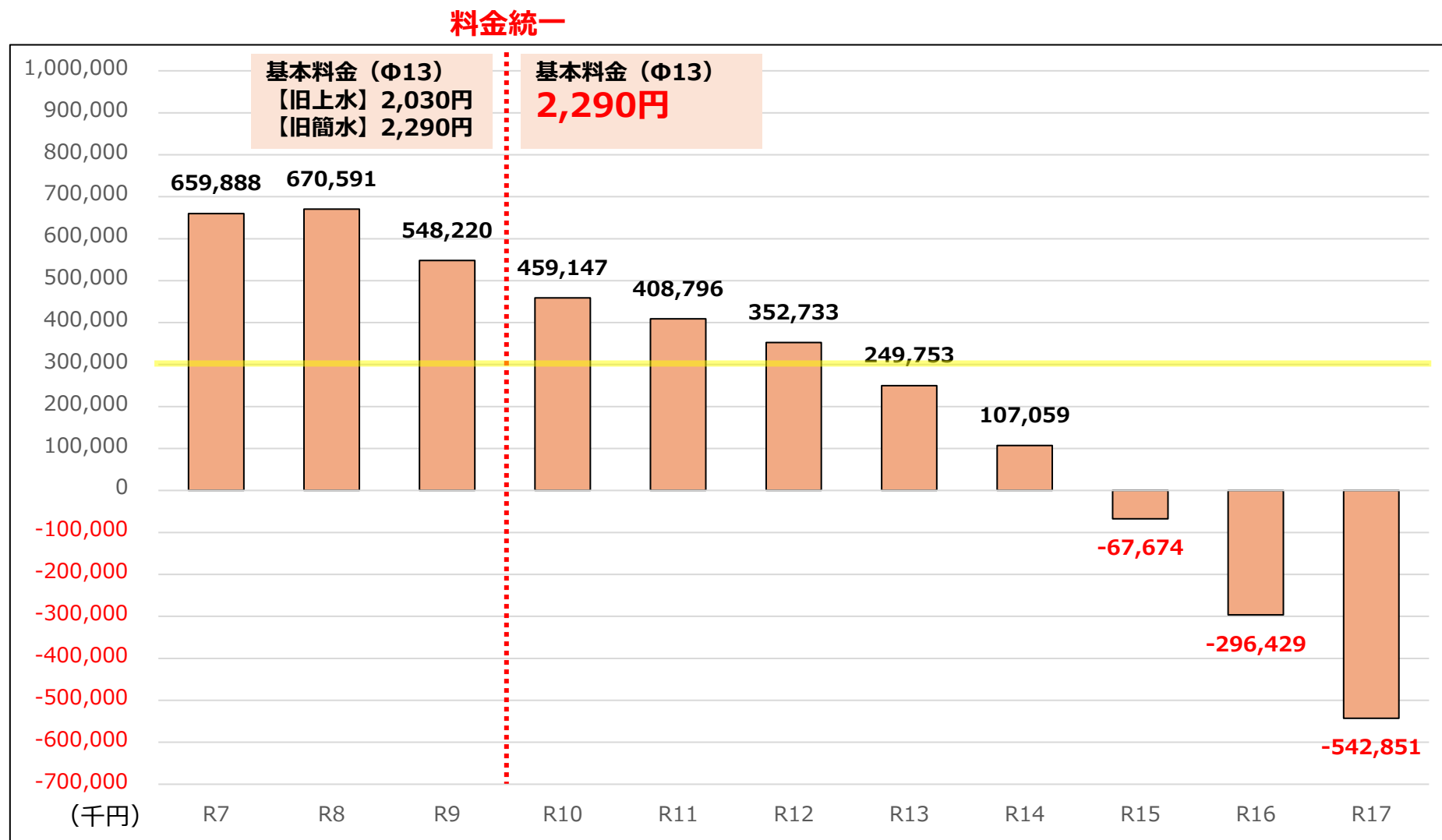


【参考】料金改定シミュレーション

① 料金統一を令和10年度に前倒しする場合

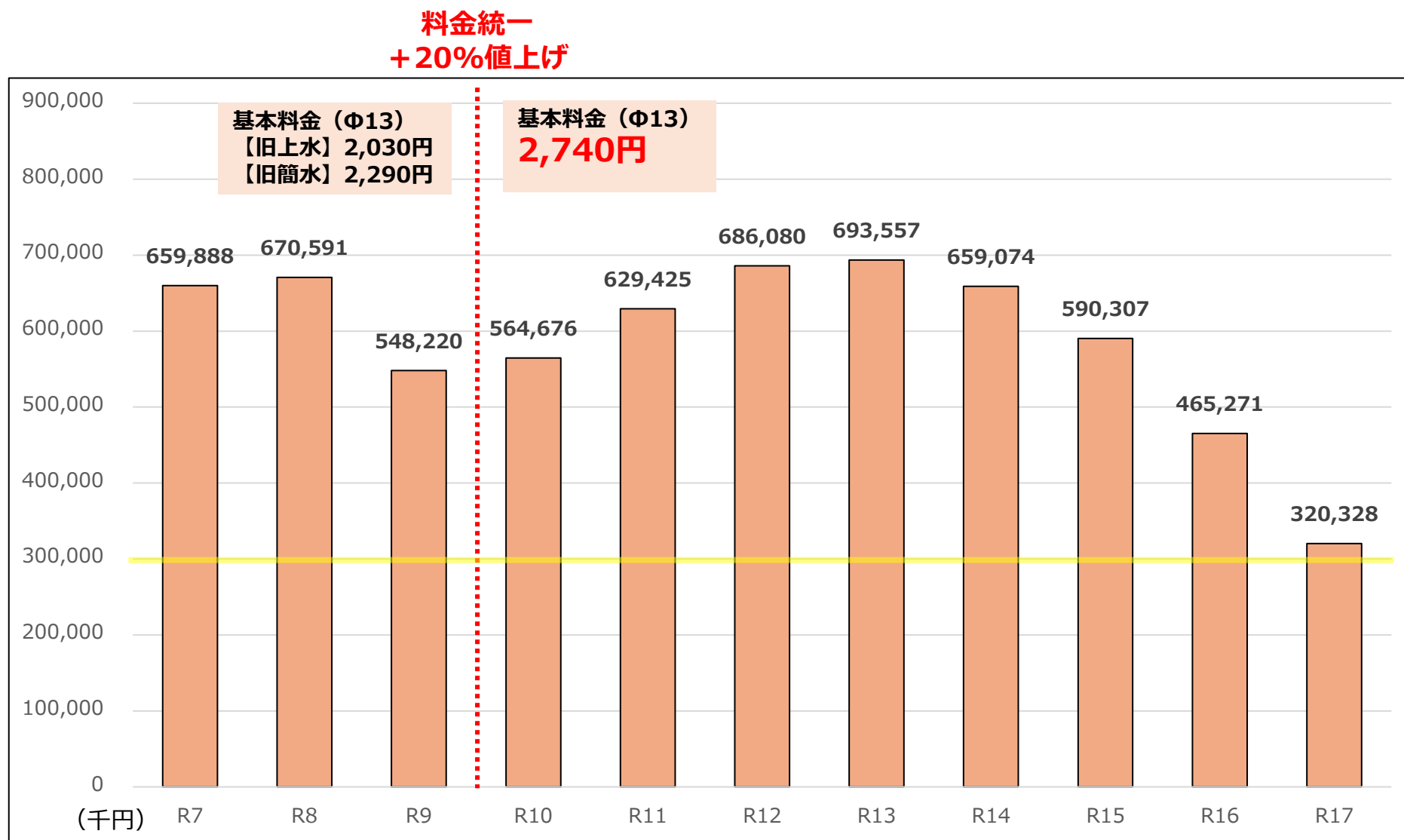
料金統一を令和10年度に前倒した場合、資金残高の減り幅はゆるやかにはなりますが、依然としてR13年度に資金残高が3億円を切る見込みであることに変わりはありません。



【参考】料金改定シミュレーション

② 料金統一を令和10年度に前倒ししつつ、同時に値上げもする場合

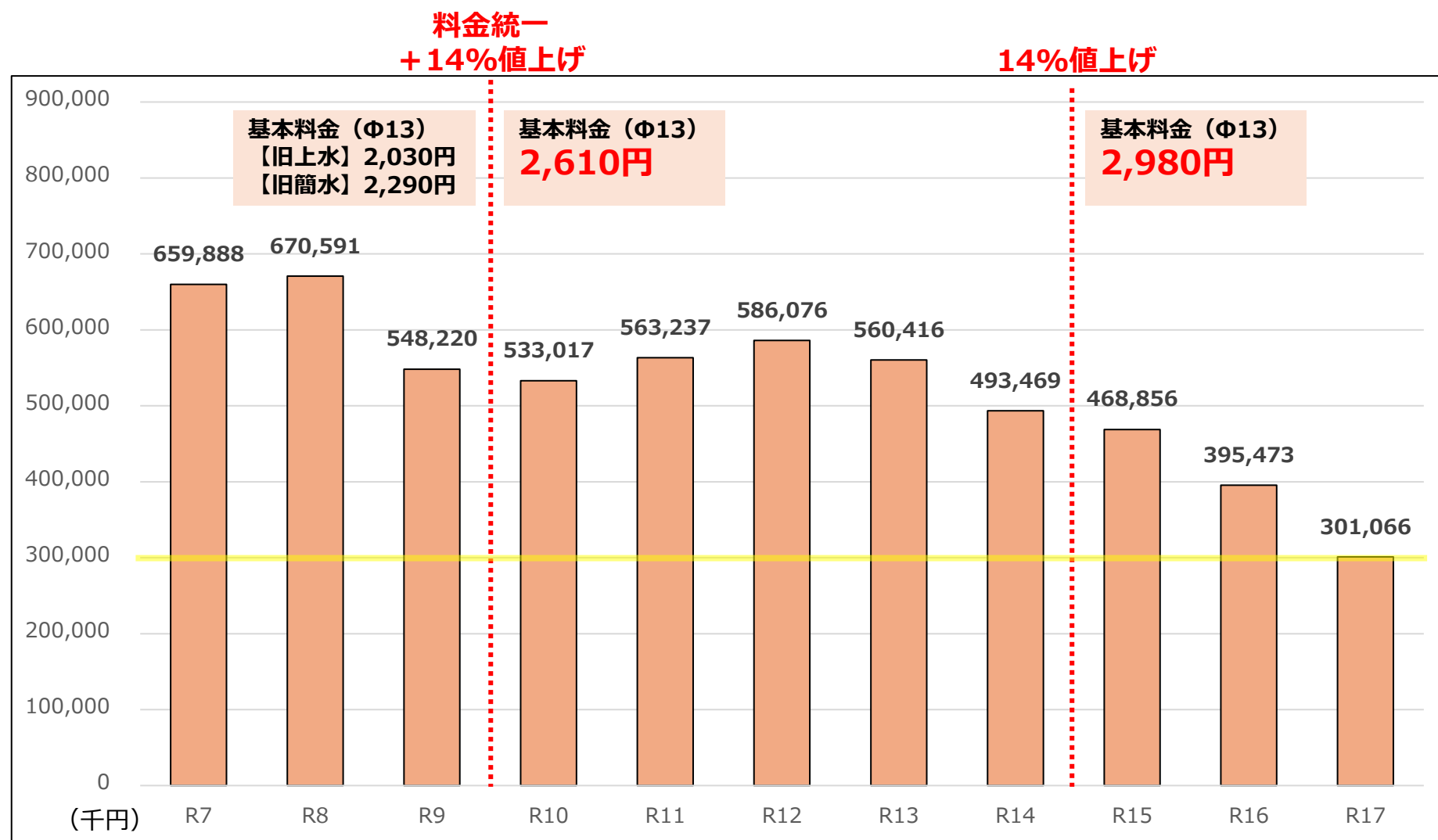
料金統一を令和10年度に前倒しし、かつ同時に20%値上げすれば、令和17年度まで3億円を確保できます。



【参考】料金改定シミュレーション

③ 料金統一を令和10年度に前倒ししつつ、更に2段階で値上げもする場合

料金統一を令和10年度に前倒しし、かつ、同時に14%値上げし、更に令和15年度に14%値上げすれば、令和17年度まで3億円を確保できます。



【参考】料金改定シミュレーション

④ 料金統一を令和10年度に前倒ししつつ、更に3段階で値上げもする場合

料金統一を令和10年度に前倒しし、かつ、同時に10%値上げし、更に令和13年度に10%、令和16年度に11%値上げすれば、令和17年度まで3億円を確保できます。

